



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年2月14日

上場会社名 株式会社エスエルディー 上場取引所 東
 コード番号 3223 URL http://www.sld-inc.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 伴 直樹
 問合せ先責任者 (役職名) IR室室長 (氏名) 石渡 麻美 TEL 03-6277-5031
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	3,911	△7.2	△80	—	△82	—	△367	—
29年3月期第3四半期	4,213	7.3	△43	—	△35	—	△163	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	△281.45	—
29年3月期第3四半期	△125.04	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	1,644	344	20.9	262.78
29年3月期	2,066	739	35.7	564.23

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 343百万円 29年3月期 737百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
30年3月期	—	0.00	—		
30年3月期（予想）				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,169	△6.1	△6	—	△6	—	△281	—	△214.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	1,307,280株	29年3月期	1,307,280株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	45株	29年3月期	45株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	1,307,235株	29年3月期3Q	1,304,599株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善、各種政策の効果があるなか、個人消費も持ち直しを見せており、景気は緩やかな回復基調が続きました。その一方で、米国の政策動向に伴う影響や北朝鮮問題等の地政学的リスクの高まり等による海外経済の不確実性は拭えず、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社の属する外食産業におきましては、人件費の上昇や食材価格の高騰、また同業他社との競争激化等を背景に、厳しい経営環境が続いております。

このような状況下において当社は、「To Entertain People～より多くの人々を楽しませるために～」という企業理念のもと、業績向上に向けた施策に取り組んでまいりました。

平成29年10月からの新組織体制及び事業運営方針の下、店舗におけるQSCAの向上を目的に「現場力」の再定義を行いました。この刷新した「現場力」を支えるシンプルかつフラットな組織を構築するため、KPIの再設定、会議体や業務フローの抜本的な見直し、企画機能とオペレーション機能との整理を進めております。

飲食サービスにつきましては、第2四半期に引き続き既存店舗の業況改善を図ることを優先し、1店舗の退店を実施したことにより、当第3四半期会計期間末における総店舗数は、前年同期末比で3店舗純減の64店舗となりました。

先述のとおり、全社的な取り組みとして、主に本社機能及び営業管理機能の業務改善(BPR)を進めていることに加えて、新たな集客施策として、店舗におけるアニメキャラクターコンテンツとのコラボレーションイベントを積極的に実施いたしました。

また、SNSを活用したデジタルマーケティングに取り組んでおり、データ分析に基づいた集客施策の効果検証の可視化も進めてまいりました。これに伴って既存の集客媒体の見直しを行った結果、店舗に係る広告宣伝費の削減及び効率化についても一定の効果が出ております。

しかしながら、これら各改善施策による主要な効果の取り込みが今後期待される中で、既存店舗の業況改善には一定時間を要することに加えて、閉鎖店舗に係る減収により飲食サービス事業は引き続き厳しい状況となりました。

コンテンツ企画サービスにおきましては、株式会社カプコンのキャラクターカフェ「カプコンカフェ」(埼玉県越谷市イオンレイクタウン)、株式会社ユーグレナの「euglena GARDEN(ユーグレナガーデン)」(沖縄県石垣市)、JA全農の「みのりカフェ」(福岡県福岡市、愛知県名古屋市)及び「グリルみのる」(愛知県名古屋市)等の運営を上半期に引き続き実施いたしました。加えて、「Christmas Market in 横浜赤レンガ倉庫」へ初出店したほか、株式会社プリンスホテル主催の「TOKYO MUSIC CRUISE」をはじめ、音楽イベントの企画・制作等を受託したことにより、コンテンツ企画サービス事業は好調に推移いたしました。

損益面では、先述のBPR効果が本社費や間接コストの一部において顕在化してきており、販管費は前年同期実績を下回る結果となりました。

また、当第3四半期会計期間における特殊要因として、平成29年11月に発表した株式会社DDホールディングスによる当社の普通株式に対する公開買付け及び同社との資本業務提携契約締結に係る一連の手続き費用12百万円を営業外費用に計上いたしました。さらに、一部の店舗につき、出店商業施設のリニューアルに伴う店舗運営条件の見直し等を踏まえて、固定資産の減損処理に係る特別損失11百万円を新たに計上いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高3,911百万円(前年同期比7.2%減)、営業損失80百万円(前年同期は営業損失43百万円)、経常損失82百万円(前年同期は経常損失35百万円)、四半期純損失367百万円(前年同期は四半期純損失163百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して422百万円減少し、1,644百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末と比較して133百万円減少し、643百万円となりました。これは主に、現金及び預金139百万円の減少、売掛金47百万円の増加等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末と比較して288百万円減少し、1,000百万円となりました。これは主に、固定資産の減損等に伴う有形固定資産242百万円の減少等によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末と比較して27百万円減少し、1,299百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末と比較して26百万円減少し、713百万円となりました。これは主に、未払消費税等36百万円の減少、1年内返済予定の長期借入金10百万円の減少等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末と比較して1百万円減少し、585百万円となりました。これは主に、長期借入金78百万円の減少、長期未払金76百万円の増加等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末と比較して394百万円減少し、344百万円となりました。これは主に、四半期純損失の計上367百万円及び剰余金の配当26百万円に伴う利益剰余金394百万円の減少によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期の業績予想につきましては、平成29年11月14日に公表した内容から変更はありません。なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	406,668	267,602
売掛金	193,852	241,085
原材料及び貯蔵品	32,720	39,357
未収還付法人税等	8,483	—
その他	135,526	96,032
貸倒引当金	—	△147
流動資産合計	777,251	643,931
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,064,203	884,894
減価償却累計額	△435,467	△472,211
建物(純額)	628,735	412,682
機械及び装置	9,000	9,000
減価償却累計額	△3,952	△5,035
機械及び装置(純額)	5,047	3,964
工具、器具及び備品	276,340	262,354
減価償却累計額	△214,878	△226,045
工具、器具及び備品(純額)	61,462	36,309
有形固定資産合計	695,245	452,956
無形固定資産	1,581	1,164
投資その他の資産		
敷金及び保証金	543,457	539,497
その他	48,208	6,421
投資その他の資産合計	591,666	545,919
固定資産合計	1,288,493	1,000,040
繰延資産	420	76
資産合計	2,066,165	1,644,048

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	124,632	136,535
1年内返済予定の長期借入金	229,497	219,400
1年内償還予定の社債	18,000	9,000
未払法人税等	—	16,219
資産除去債務	11,928	1,389
店舗閉鎖損失引当金	7,616	—
その他	348,817	331,411
流動負債合計	740,491	713,955
固定負債		
長期借入金	440,829	362,768
資産除去債務	145,720	141,527
その他	—	81,094
固定負債合計	586,549	585,390
負債合計	1,327,040	1,299,346
純資産の部		
株主資本		
資本金	272,162	272,162
資本剰余金	256,162	256,162
利益剰余金	209,347	△184,713
自己株式	△91	△91
株主資本合計	737,579	343,518
新株予約権	1,545	1,182
純資産合計	739,124	344,701
負債純資産合計	2,066,165	1,644,048

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	4,213,404	3,911,547
売上原価	3,764,377	3,529,991
売上総利益	449,027	381,556
販売費及び一般管理費	492,651	462,131
営業損失(△)	△43,624	△80,574
営業外収益		
受取利息	6	4
受取保険金	294	14,270
協賛金収入	12,499	3,928
その他	4,936	11,264
営業外収益合計	17,736	29,468
営業外費用		
支払利息	5,540	5,715
支払手数料	—	12,560
支払補償費	—	10,344
リース解約損	2,505	2,241
その他	1,221	842
営業外費用合計	9,267	31,703
経常損失(△)	△35,155	△82,810
特別損失		
減損損失	94,211	227,009
その他	98	—
特別損失合計	94,309	227,009
税引前四半期純損失(△)	△129,465	△309,819
法人税、住民税及び事業税	6,462	5,117
法人税等調整額	27,200	52,979
法人税等合計	33,662	58,096
四半期純損失(△)	△163,128	△367,916

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

当社は、店舗の運営等を通じたカルチャーコンテンツの提供を行う事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。